

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成 17 年 6 月 9 日 (2005.6.9)

【公表番号】特表 2002-525099(P2002-525099A)

【公表日】平成 14 年 8 月 13 日 (2002.8.13)

【出願番号】特願 2000-572253(P2000-572253)

【国際特許分類第 7 版】

C 1 2 N 15/09  
 A 6 1 K 38/00  
 A 6 1 K 39/00  
 A 6 1 K 39/39  
 A 6 1 P 35/00  
 A 6 1 P 35/02  
 A 6 1 P 37/04  
 C 0 7 K 14/82  
 C 0 7 K 16/32  
 C 1 2 Q 1/02  
 C 1 2 Q 1/68  
 G 0 1 N 33/15  
 G 0 1 N 33/50  
 G 0 1 N 33/53  
 G 0 1 N 33/574

【F I】

C 1 2 N	15/00	Z N A A
A 6 1 K	39/00	H
A 6 1 K	39/39	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	35/02	
A 6 1 P	37/04	
C 0 7 K	14/82	
C 0 7 K	16/32	
C 1 2 Q	1/02	
C 1 2 Q	1/68	A
G 0 1 N	33/15	Z
G 0 1 N	33/50	Z
G 0 1 N	33/53	D
G 0 1 N	33/574	A
A 6 1 K	37/02	

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 8 月 27 日 (2003.8.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ネイティブの W T 1 ポリペプチド の免疫原性部分あるいは 1 以上の置換、欠失、付加お

よび／または挿入において異なるその改変体を含む、ポリペプチドであって、このような改変により、該改変体の W T 1 特異的抗血清および／または T 細胞株もしくはクローンと反応する能力が実質的に減少しておらず、ここで該免疫原性部分は、ネイティブの W T 1 ポリペプチド内に存在する 16 以下の連続するアミノ酸残基を含む、ポリペプチド。

【請求項 2】

前記免疫原性部分が、M H C クラス I 分子に結合する、請求項 1 に記載のポリペプチド。

【請求項 3】

前記免疫原性部分が、M H C クラス I I 分子に結合する、請求項 1 に記載のポリペプチド。

【請求項 4】

請求項 1 に記載のポリペプチドであって、該ポリペプチドが、以下：

( a ) 表 I I ~ X L V I の 1 以上に列挙される配列；ならびに

( b ) 1 以上の置換、欠失、付加および／または挿入において異なる該配列の改変体であって、このような改変により、該改変体の抗原特異的抗血清および／または T 細胞株もしくはクローンと反応する能力が実質的に減少されていない、改変体、からなる群より選択される配列を含む、ポリペプチド。

【請求項 5】

請求項 1 に記載のポリペプチドであって、前記免疫原性部分が、以下：

( a ) C M T W N Q M N L ( 配列番号 49 および 258 )、R M F P N A P Y L ( 配列番号 185 および 293 )；N A P Y L P S C L ( 配列番号 144 )；R D L N A L L P A V P S L G G G G ( 配列番号 1 )；R D L N A L L P A V S S L G G G G ( 配列番号 13 )；A L L P A V S S L ( 配列番号 255 )；A L L P A V P S L ( 配列番号 34 )；V L D F A P P G A ( 配列番号 241 )；V R R V S G V A P T L V R S ( 配列番号 17 )；R I H T H G V F R G I Q D V R ( 配列番号 15 および 16 )ならびに、

( b ) 1 以上の置換、欠失、付加および／または挿入において異なる該配列の改変体であって、このような改変により、該改変体の抗原特異的抗血清および／または T 細胞株もしくはクローンと反応する能力が実質的に減少されていない、改変体、からなる群より選択されるポリペプチド配列を含む、ポリペプチド。

【請求項 6】

前記免疫原性部分が、C M T W N Q M N L ( 配列番号 49 および 258 )または R M F P N A P Y L ( 配列番号 185 および 293 )のポリペプチド配列を含む、請求項 1 に記載のポリペプチド。

【請求項 7】

前記ポリペプチドが、ネイティブの W T 1 ポリペプチドの 4 ~ 16 の連続するアミノ酸を含む、請求項 1 に記載のポリペプチド。

【請求項 8】

前記ポリペプチドが、ネイティブの W T 1 ポリペプチドの 8 ~ 10 の連続するアミノ酸を含む、請求項 1 に記載のポリペプチド。

【請求項 9】

ネイティブの W T 1 ポリペプチドの免疫原性部分あるいは 1 以上の置換、欠失、付加および／または挿入において異なるその改変体を含む、ポリペプチドであって、このような改変により、該改変体の W T 1 特異的抗血清および／または T 細胞株もしくはクローンと反応する能力が実質的に減少しておらず、ここで該免疫原性部分は、配列番号 2 に記載されるアミノ酸残基を含む、ポリペプチド。

【請求項 10】

請求項 1 ~ 9 のいずれか 1 項に記載のポリペプチドを、薬学的に受容可能なキャリアまたは賦形剤と組み合わせて含む、薬学的組成物。

【請求項 11】

請求項 1 ~ 9 のいずれか 1 項に記載のポリペプチドを、非特異的免疫応答エンハンサー

と組み合わせて含む、ペクター。

【請求項 1 2】

以下を含む、薬学的組成物：

(a) WT 1 ポリペプチドであって、該ポリペプチドは、ネイティブの WT 1 の免疫原性部分あるいは 1 以上の置換、欠失、付加および / または挿入において異なるその改変体を含み、このような改変により、該改変体の抗原特異的 T 細胞株もしくはクローンと反応する能力が実質的に減少していない、WT 1 ポリペプチド；ならびに

(b) 薬学的に受容可能なキャリアまたは賦形剤。

【請求項 1 3】

以下を含む、ペクター：

(a) WT 1 ポリペプチドであって、該ポリペプチドは、ネイティブの WT 1 の免疫原性部分あるいは 1 以上の置換、欠失、付加および / または挿入において異なるその改変体を含み、このような改変により、該改変体の抗原特異的 T 細胞株もしくはクローンと反応する能力が実質的に減少していない、WT 1 ポリペプチド；ならびに

(b) 患者における T 細胞応答を優先的に増強する非特異的免疫応答エンハンサー。

【請求項 1 4】

請求項 1 ~ 9 のいずれか 1 項に記載のポリペプチドをコードする、ポリヌクレオチド。

【請求項 1 5】

請求項 1 4 に記載のポリヌクレオチドを、薬学的に受容可能なキャリアまたは賦形剤と組み合わせて含む、薬学的組成物。

【請求項 1 6】

請求項 1 4 に記載のポリヌクレオチドを、非特異的免疫応答エンハンサーと組み合わせて含む、ワクチン。

【請求項 1 7】

前記免疫応答エンハンサーがアジュバントである、請求項 1 1、1 3 および 1 6 のいずれか 1 項に記載のワクチン。

【請求項 1 8】

請求項 1 1、1 3 および 1 6 のいずれか 1 項に記載のワクチンであって、前記非特異的免疫応答エンハンサーが、Montanide ISA 50、Seppic MONTANIDE ISA 720、サイトカイン（例えば、GM-CSF、Flat3-リガンド）、ミクロスフェア、ジメチルジオクタデシルアンモニウムブロミド（DDA）ベースのアジュバント、AS-1、AS-2、Ribi Adjuvant システムベースのアジュバント、QS21、サポニンベースのアジュバント、マイクロフルイダイズされた形態の Syntex アジュバント、MV、ddMV、免疫刺激複合体（isc om）ベースのアジュバント、および不活性化毒素からなる群より選択される、ワクチン。

【請求項 1 9】

前記免疫応答エンハンサーが、患者における T 細胞応答を優先的に増強する、請求項 1 1 および 1 6 のいずれか 1 項に記載のワクチン。

【請求項 2 0】

活性な治療用物質として使用するための、請求項 1 ~ 9 のいずれか 1 項に記載のポリペプチド。

【請求項 2 1】

患者において免疫応答を増強または誘導するための医薬の製造における使用のための、請求項 1 ~ 9 のいずれか 1 項に記載のポリペプチド。

【請求項 2 2】

被験体において癌を処置するための医薬の製造における使用のための、請求項 1 ~ 9 のいずれか 1 項に記載のポリペプチド。

【請求項 2 3】

患者において白血病を処置するための医薬の製造における使用のための、請求項 1 ~ 9 のいずれか 1 項に記載のポリペプチド。